

# コープやまぐち組合員賞

## 絵本の会むつみ

代表者 山本 洋子（子育て分野／光市）

### 活動の動機・目的

光市立図書館の「絵本の読みあいグループ」が母体となり、浅江地区のメンバーで発足。地域の小学校に「おはなし会」（絵本の読み聞かせ）を提案したところ、快く受け入れてもらい活動が始まった。

絵本を通して、子どもたちに辛いことや悲しいことを乗り越え、生きていくことの素晴らしさを伝えるとともに、人を思いやる優しい心、豊かな想像力を育てるお手伝いができればとの思いで活動している。

### 活動の内容

- ①浅江小学校で月2回、昼休みにおはなし会を実施。毎回、低学年が主となるが、30～50人の子どもたちが来てくれる。当日の担当者2～3人が本を選び、読み聞かせをしている。
- ②9月に1年生のおはなし会を授業の1時限を頂いて実施。4～5クラスあるので、前半・後半に分かれてそれぞれ20分間ずつ行う。絵本のお話の楽しさを伝え、お昼のおはなし会に誘う。
- ③3月に6年生のおはなし会を授業の1時限を頂いて実施。卒業する6年生にお話のプレゼント。絵本から離れている6年生だが、改めて絵本の素晴らしさに触れてもらう。
- ④夏の夜のおはなし会を実施（今年で7回目）。

子どもたちがワクワクドキドキするような体験ができないかとみんなで話し合っ始めた。

子どもたちを怖いお話の世界へと誘い込み、想像力を膨らませ、楽しんでもらいたいとの思い。

○浅江公民館と公民館文化部の協力を得て、毎年7月中旬、夜7時から1時間、部屋に暗幕を張って真っ暗にし、ろうそく1本の灯りの中、絵本・語り・紙芝居を実施。語りは他団体の「語りの会」の方が協力実施。文化部の方（主に男性）には、前日の暗幕張りや、当日は夜のイベントなので子どもたちの見守りをしてもらっており、心強い協力者である。

○絵や小道具、照明でメインとなる絵本の世界を演出し、好評。障子に切り絵を貼ったり、絵を描いたりして、毎年、絵本の内容に合わせた背景を考えるのが楽しみの一つとなっている。参加者は大人・子ども合わせて、毎年100人前後。

『ゆきおんな』『やまんばと3まいのおふだ』『かっぱ』等、絵本4話、語り2話、紙芝居1本。

### これからめざしたいこと

今後は、学習会・講演会等で専門家の方たちから学んだことを活かし、誰でも気軽に参加できるよう、読み聞かせの仕方・絵本の選び方・おすすめ絵本のリストなどをまとめたガイドブックを作りたい。子どもたちと楽しい時間を共有できることを喜びとし、自分たちを待っていてくれることを励みとして、これからも活動を続けていきたい



お昼のおはなし会



夏の夜のおはなし会